



LINE公式アカウント  
組合のお得な  
情報をゲット!  
ぜひ登録をお  
願いします。



発行所  
東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部  
東京都三鷹市上連雀7-33-8  
電話 0422(47)9101  
Fax 0422(47)9104  
発行責任者 竹内 敦

# 力強い繋がりを作る1年に

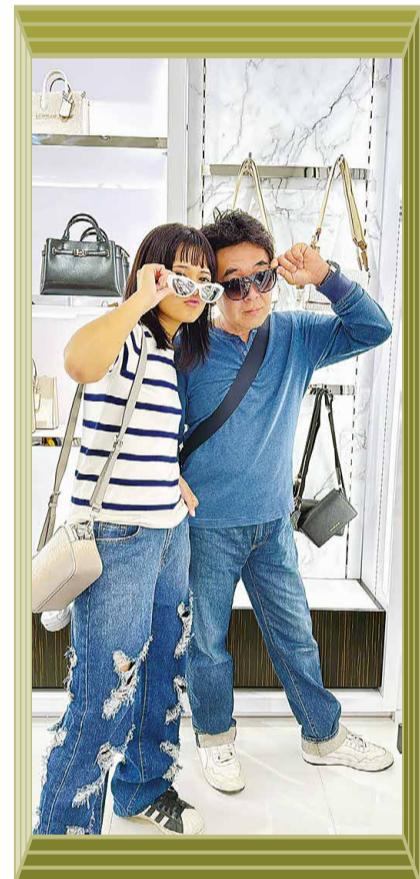


**【千葉さんコメント】**立山にライチョウを撮りに鳥仲間と出かけ、「息をのむほど美しい風景」に出会うことができました。「立山みくりが池」は北アルプスの火山湖で一番と言われていて、室堂エリアから遊歩道を歩いていくと青く澄んだ美しい姿を見せてくれます。このあたりは天然記念物のライチョウが生息しているエリアで、ライチョウにも出会うことができました。

**【風景部門講評】** 最高の条件に恵まれた冬山への旅でしたね。画面構成に隙が無く、いいところの全てを画面に収めています。めったにならない冬山の気象条件までも味方につけた作者の運はすばらしいものです。運も実力といいます。



風景部門 特賞  
「息をのむほど美しい風景」  
千葉たか子さん（新川中原）



家族部門 特賞  
「たまには娘とショッピング」  
藤倉智則さん（井の頭）



スナップ部門 特賞  
「ん~! とれない!」  
大原愛さん（直属）

## 第11回 フォトコンテスト 特選作品

**【教育宣伝部発】** 2025年のフォトコンテストは41人の仲間から、161点の作品が寄せられ、昨年の154点を超える事が出来ました。沢山のご応募ありがとうございました。応募作品の内訳として、スナップ72点、風景65点、家族24点となっていて、次回は家族部門が狙い目かもしれません。年が明けた今、2026年のフォトコンテストはすぐにやって来ます（2026年10月～11月予定）。今のうちから沢山のシャッターを切ってみましょう。

**【スナップ部門講評】** 最高の瞬間にシャッターを切りました。さらに、下から見上げるカメラポジションとローアングルが効果を決定付けました。見る人も一緒に臨場感に包まれます。素晴らしいスナップショットです。

**【大原さんコメント】** 子どもまつりでのパン喰い競争の一コマです。たくさんの子どものわくわくした気持ちや、それを温かく見守る大人たちがいっぱい、とても楽しそうな雰囲気でした。その瞬間の笑顔を写真に残すことができ嬉しく思いました。

い出です。良い一年が始まる気がした思事なのはスピードより「前に向かう気持ち」そう思うと少し肩の力が抜けて、なんだか良い一年が始まる気がした思

いました。▼瞬間ふと思つた。午年つてただ勢いよく走る年じやなくて、落とし物を拾いながらでも前に進めば良い年なんぢやないか、と。大事なのはスピードより

勢よく走りだせそうな気持ちになっていました。いつもと同じくおみくじを引いてみると【大吉】。しかも書かれていた言葉が「思い切って進め。迷う心が恐れを生む。馬のように前を見よ」▼すっかり気分が良くなつたところで神社から出ようとすると、後ろから息を切らしたおじさんが走つてきました。「すみません! 馬の置物落としていましたか! ?」……見ると確かに自分の手提げから飛び出したらしい木彫りの小さな馬です。拾ってくれたおじさんは「午年最初のダッシュでしたよ」と笑っていました。: 気持ちが前向きになりすぎて、周りが良く見えてなかつたのかもしれません。おじさん、拾つてくれてありがとうございました。

**【藤倉さんコメント】** 特賞選出ありがとうございます。年に数回娘達と出掛け、ランチやショッピングをする日があります。GWに、夏のアイテムを物色している時のもので、自分にとって、とても大切な時間の1枚です。

**【家族部門講評】** 父と娘の関係性が見事に表現されています。この年頃になって親父と一緒に買い物に行くことは…。きっと「何でも買ってやる」とでも言ったのかもしれません。娘さんのお洒落が親父にも影響した今時の親子です。楽しい写真です。

今年の干支は  
午ですね。ある  
午年の元旦に地  
元の神社に初詣  
に行つたときの  
話▼境内には

「今年は駆け抜  
ける一年に!」  
と書いてある大きな看板があ  
り、みんな写真を撮っていた  
り「いい年になりそうだね」  
なんて話していく、自分で

記  
雜  
林

今年の干支は  
午ですね。ある  
午年の元旦に地  
元の神社に初詣  
に行つたときの  
話▼境内には

## 執行委員長あいさつ

## 「新年に思う」



島村 新 執行委員長

新年、明けましておめでとうございます。日頃より組合の諸活動へのご理解・協力、そしてご奮闘に心より感謝申しあげます。

昨年末に第三次扱い手3法が完全施行され、適正賃金、労働者の処遇確保が元請けに対し努力義務化されました。賃金・単価が上からず3K(きつい・汚い・危険)といわれてきましたが、この法改正により私たちも元請けに対して自信を持って請求・要求ができる環境が整ってきました。扱い手不足も深刻な状況で、若者に選ばれる業界にする為にも法改正の中身を学習して適正な賃金、処遇の改善などの運動を強めていきます。

自治体関連では、三鷹市で公契約条例がいよいよ始まります。これにより公共事業に従事する労働者の労働条件の底上げや適正な雇用環境の確保がなされ、それによって公共サービスの質の向上につながります。今後については条例の実効性の確保や対象となる業種の拡大などを求めていきます。また武蔵野市に対しても市長・議員懇談など引き続き対話を続け条例制定に向けての運動をしていきます。

組織強化では春・秋の拡大月間で本部目標を達成し、特に秋の月間では7年ぶりとなる全分会目標達成することができました。あらためてみなさんの奮闘に感謝申し上げます。後継者世代の取組みでも新たな仲間の参加もみられています。結びつきを強め行動への参加に繋げていきます。

# 新春企画 私の「二刀流」



リペア修行中

牟礼北野分会 東山文彦記 今

年のお題は「二刀流」！まず二刀流について検索すると宮本武蔵と大谷翔平と出る。どうやら大活躍の大谷さんに掛けたな。2019年大リーグのルール変更があり、投手野手に加え二刀流選手が登録可能に。1シーズン内に20イニング以上、野手で20試合以上などが条件で、「大谷ルール」と呼ばれている。新しい試みでかなり厳しい条件ですが、軽々とクリアするとは流ります。

## 二刀流？一枚舌？二足の草鞋？

石二刀流第一人者です。

政治にも二刀流が有るらしい。得意の二刀流発言、どうとでも取れるどっちつかずの発言、否定も肯定もせず政治家の強かさというべきか、皆この手で難局を乗り切るのだ。政治家にはあと二枚舌というワザもあるが…。

# 武士に憧れ舞台の世界



男前です



演技中の中谷さん（左）



中谷さんと舞台の仲間たち

さて昨年、日本維新の会との閣外協力により高市政権が発足しました。所信表明では政治とカネを巡る問題には触れず、憲法改正や安保3文書改訂など重拵に向かう危険性を見せていました。和平を守る運動がたいへん重要になっていきます。私たち東京土建は、「二度と戦争のための工事をしない」の決意のもと平和憲法を守っています。

最後になりますが本年が皆さんにとって良き一年になりますようご多幸とご健勝を祈念して挨拶とかえさせていただきます。本年もよろしくお願ひいたします。

【教育宣伝部発】2025年も二刀流します。趣味であったり、本業と少し違ったようなそれぞれの二刀流をお楽しみください。

# モルツク…ご存じですか？



入賞の吉田さん

それからしばらく忘れていきましたが、世の中がコロナ禍になり2年ほど経ち、自粛生活の中で子どもたちが気兼ねなく楽しめる物がないかと、

モルツクは、数字の棒に点を重ね、50点ピッタリで上げる（勝ち）と言うスポーツです。やってみると頭も使うし、倒れた棒はセルフで、自分たちで戻していくので、しゃがんだり立つたりと足腰を使うスポーツ

翔平選手は現代ならではの二刀流そのものですよね。私の二刀流とは冒頭で述べた正に「武士」。

設備屋を営む傍ら日々稽古に励み、舞台の上でお客様に時代劇の中で笑いや感動を届ける舞台役者。普段生きていく中で戦国武将や新撰組になりきって刀で敵を斬る！なんて事できない

ですが、僕は子供の頃からチャンバラが大好きでした。10年前初めて生で殺陣（たてこ）を見たときに何かに火が着いてそのまま芝居の世界に足を踏み入れました。

テレビドラマと違つて生物をお届けするっていうのは何年経っても緊張しますが、その後のお客様の感想を聞ける

私がモルツクを買うから一緒にやらない？！と我が子が戦っても、必ず上級者が勝つとも限らないスポーツです。言葉では、なかなか仕事しながら日本代表になりました。

モルツクは、元日本代表の森田さんに勝ちたいとモルツクを続けていますが、いまのところ日本代表のチームメ

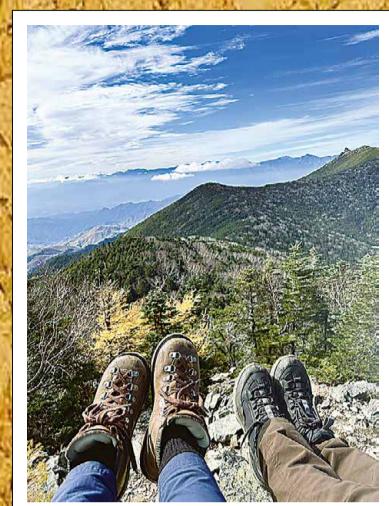
ですが、激しく走ったり跳んだりはしないので、老若男女楽しめるスポーツです。そして意外と運要素も強いので、上級者と初心者が戦っても、必ず上級者が勝つとも限らないスポーツです。言葉では、なかなか

世界大会に挑む。というのを観て初めて知りました。お友達家族の数人誘つてきましたが、このモルツクでは、なかなか初めての方も出られる大会などもあるので、関心のある方は一度チャレンジしてみてもらいたいスポーツです。伝わりませんが、体验会や

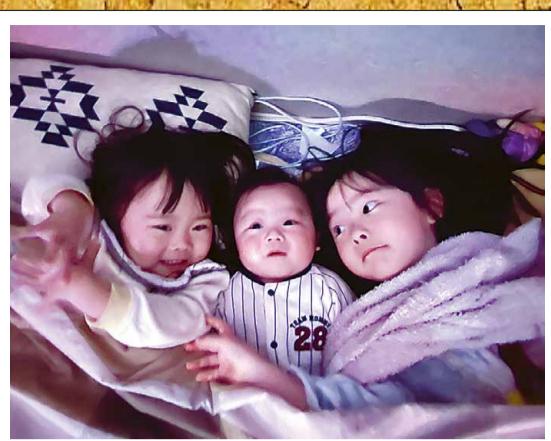
今年特別企画「私の二刀流」を掲載いたしました。趣味であったり、本業と少し違ったようなそれぞれの二刀流をお楽しみください。

島村 新 執行委員長

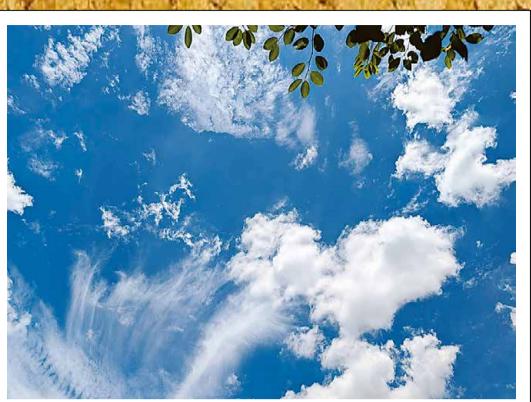
（2）



スナップ部門 準特選  
「井戸端会議」  
安喰祥子（連雀）



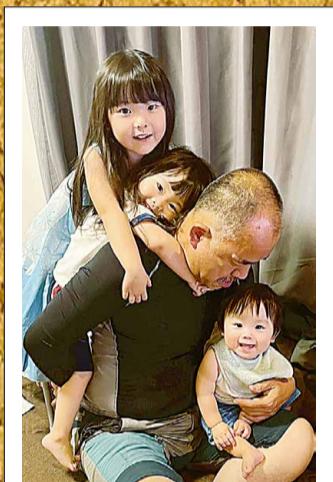
家族部門 準特選  
「お姉ちゃん優しくしてね」  
山中健一（連雀）



風景部門 準特選  
「マイブルーへブン」  
坂本正美（新川中原）



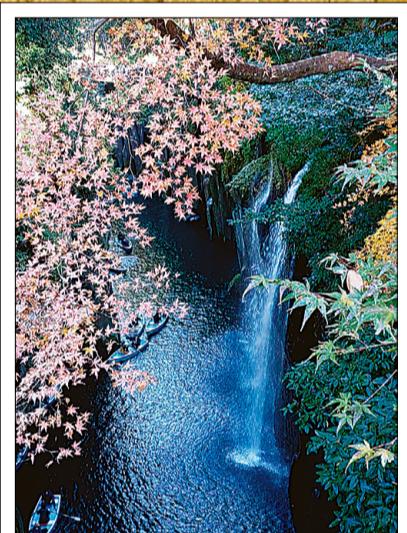
スナップ部門 入選  
「指先」  
麻生嶋初枝（連雀）



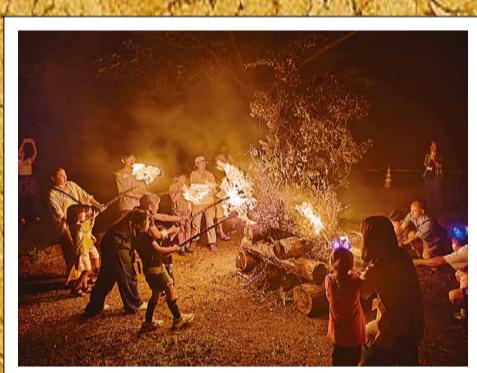
家族部門 入選  
「毎日お風呂担当じいじ」  
山中千晴（連雀）



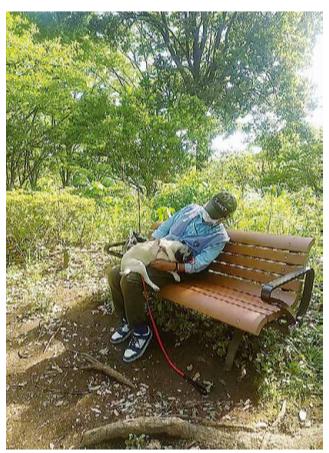
スナップ部門 入選  
「みんなで芋ほり」  
西根みゆき（関前）



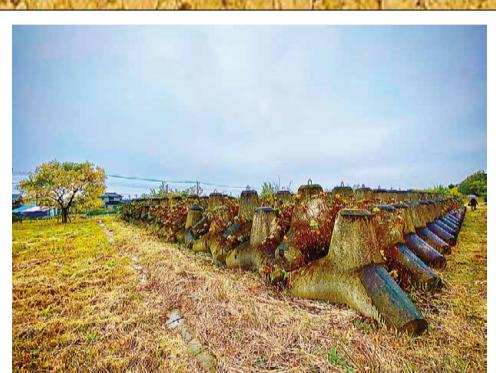
風景部門 入選  
「晚秋 高千穂」  
東山文彦（牟礼北野）



スナップ部門 入選  
「点火」  
三澤克己（直属）



家族部門 入選  
「いつもいっしょ」  
湊尚文（吉祥寺）



風景部門 入選  
「利根川沿いのテトラポット」  
笠原伸太郎（吉祥寺）



風景部門 入選  
「誰もいない海」  
佐藤肇（深大寺）



家族部門 入選  
「自由への逃走」  
角田恵里佳（大沢）

## 尾辻先生 総評

今年の特徴は各部門ともクオリティーが高く、特選だけでなく入賞作品もバラエティに富み楽しい選考となりました。スナップ部門は撮影技術をはじめ感性など総合力が問われました。特選や準特選はシャッターチャンスの選択や視点のユニークさなどが目を引きました。家族の部では被写体が「孫」ばかりの中で、「父と娘」という関係性の強さや「ペットも家族」という現代社会の一端まで見せてくれました。風景の部では、特選、準特選などのオーソドックスな風景写真の秀作の中で、テトラポットを被写体とした作品が入賞しました。風景写真に自然風景と社会的風景が存在し、“絶景”だけが風景写真ではないことを証明してみせました。

## 部長賞

部長：2人で飲みこ！



家族部門 部長賞  
「お祭り準備中！」  
藤沢奈美子さん（新川中原）

部長：みんなオラに虹くれ



風景部門 部長賞  
「黒部ダムの奇跡の虹」  
千葉正紀さん（新川中原）



スナップ部門 部長賞  
「うちの守り神」  
八島敬予さん（井の頭）

